

1 医療

【現状】

○ 医師数・病床数

人口10万人当たりの医師数は、平成26年末現在192.5人で、県平均（226.9人）及び全国平均（244.9人）を下回っている。また、人口当たりの病床数も県平均及び全国平均を下回っている。

無医地区（阿南町2、天龍村3、泰阜村1、大鹿村1の計4町村7地区）における医療機関の開設等は、依然として困難な状況にある。

なお、医師の高齢化が進み、今後の診療所の減少、往診や訪問診療への影響が懸念される状況にある。

○ 産科医療機関の減少

分娩を扱う産科医療機関が、飯田市立病院及び椎名レディースクリニック（休止中）の2施設のみとなっており、年間約1,500件の管内の出産に対応するのが限界となっている。

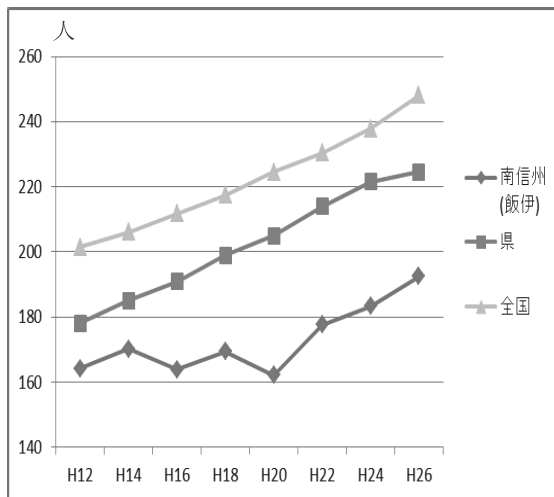
○ 救急医療体制

救命救急センターの飯田市立病院が中核となり、二次救急を担う輪番病院等、初期救急を担う在宅当番医と休日夜間急患診療所により救急医療に対応しているが、広大な二次医療圏においては、救急搬送に1時間以上を要する地域がある。

○ 在宅医療と介護の連携

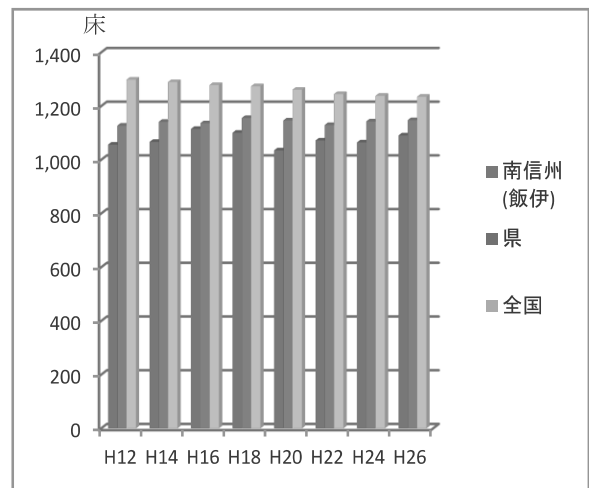
南信州広域連合が事務局となり、市町村、医療機関、介護事業所等の関係機関と協議し、在宅医療と介護の連携を推進する体制が構築されている。

<人口10万人当たり医師数>



(厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査)

<人口10万人当たり病院病床数>



【課題】

- 地域独自の医師等医療従事者確保対策の推進
- 無医地区等のへき地における人的・物的な医療体制の整備
- 産科関連医療機関の機能分担による地域内分娩体制の維持
- 医療と介護の連携強化による高齢者に対する在宅療養環境の整備と地域包括ケア体制の構築
- ICTを活用した患者情報の共有、医療と介護のネットワーク化の推進